

教育目標

ひのつこ

らこう世界へ
びようともに
くろう夢を
えよう自分を

紙面から

- 高木教育委員年頭所感・プレゼン大会 …… 1
- プリティッシュ・ひのつこがんばってます 他… 2
- 日野市教育センター活動報告、東京駅伝大会 他… 3
- シェフコン、井上源三郎没後150年 他… 4

年頭所感



教育委員会
委員長職務代理者
高木 健夫

すごいぞ！
ひのつこ

少子高齢化、情報化社会、地球温暖化等、21世紀になり私たちを取り巻く社会や世界の状況が、より大きく急激に変化しています。日野市では、第2次日野市学校教育基本構想を策定し、子供たちに「21世紀を切りひらく力」を育てるために、今年度は4年目となる活動を進めています。

近年は、子供たちや学校教育に対する期待や要望も広範で多様化しており、従来からの取り組み方法等では処し切れない場面が出つつあり、目指すべき目標の水準や期待の高さに驚く場合もあります。また、家庭環境そのものも経済状況等の変化の影響を強く受け、従来以上に保護者や関係者の価値観や認識も多様化複雑化していると感じています。

その様な中で昨春、日野市公立中学8校による生徒会サミットが、今年度の宣言として「Step One: 習うから学ぶへー未来はこの手の中にあるー」と具体的な行動目標を発信しました。中学生が、自ら主体的に未来志向で考えや行動目標をまとめていただけたことは、大変頼もしくもあり内容に強い衝撃を受けました。



第9回 児童・生徒による
プレゼンテーション大会を開催しました

1月13日(土)、子供たちのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することをねらいとして、第9回児童・生徒によるプレゼンテーション大会を開催しました。

ひの煉瓦ホール(日野市民会館大ホール)を会場に、小・中学校合わせて21校の代表の子供たちと、「被災地に学ぶ生きる力プロジェクト」に参加した中学生が発表しました。



『被災地に学ぶ生きる力プロジェクト』

宮城県気仙沼市を訪れ、被災地見学や気仙沼中学校との交流を通して、感じたことや私たちにできることを考えて発表しました。

◆日野第三小学校

『日野大好きプロジェクト』

自分たちの地域について「なし博士になろう」「カイコのひみつ」「ふるさとの自然を守るう」というテーマで調べたことを発表しました。

◆日野第五小学校

『将来の夢』

自分たちが目指している夢と、夢を目指すようになった理由、夢を実現するための行動について発表しました。

◆旭が丘小学校

『バリアフリーについて』

「心の健康を求めて〜」
障害をもつ人たちが安心して生活していくための様々な工夫について調べ、発表しました。

◆南平小学校

『すずかけ米大作戦』

地域の農家の方の協力により、校内の水田で栽培した「すずかけ米」の稲作体験について、学んだことや感想を発表しました。

◆東光寺小学校

『わたしたちの東光寺小〜エピソード〜 過去からの贈り物〜』

東光寺小学校の近隣の地域について、地名の由来や歴史、史跡、自然について調べたことについて発表しました。

◆日野第四小学校

『〇〇会社を作ろう』

「よりよい社会を目指して〜」児童たちが会社について考え、会社のロゴや会社名の由来、考案した商品とその特徴について発表しました。

◆仲田小学校

『水田学習プロジェクト』

稲作体験を通して学んだ、現在と昔の米作りの違いや、様々な地域の米作りについて発表しました。

◆七生中学校

『職場体験』

農家、ドラッグストアでの職場体験を通して、感じたことや考えたこと、学校での学習がどう生かされるかについて発表しました。

◆大坂上中学校

『職場体験学習』

『夢が丘の集合活動』

集会委員会の活動の、集会の内容や本番までの準備について、実際の集会を再現しながら発表しました。

◆平山小学校

『生きぬく科「まちづくりプロジェクト」』

地域で起こり得る災害から、自分たちや家族を守っていくための具体的な方法について、調べたことを発表しました。

◆七生緑小学校

『これが私の生きる道』

もぐさ保育園、百草図書館での職業体験を通して、仕事について考えたことを発表しました。

◆日野第八小学校

『調べよう そなえよう わたしたちの防災』

災害が起こった時にどのような身を守るか、避難場所や避難の際に必要なものについて、調べたことを発表しました。

◆日野第七小学校

『知っていますか？沖繩のこと』

沖縄県の気候や文化・伝統、自然環境、歴史について調べたことについて、ニュース形式で発表しました。

◆日野第一小学校

『緑と清流のまち 日野』

仲田の森蚕糸公園や多摩川の自然について調べたことや、豊かな自然を守るために自分たちができることについて考えたことを発表しました。

◆日野第六小学校

『異聖歌と新美南吉』

日野に住んでいた詩人、異聖歌と「ごんぎつね」の作者である新美南吉の作品や関係について学んだことを発表しました。

◆潤徳小学校

『米作り』

米作りを通して学んだことや、世界の稲作・米料理について調べたことを発表しました。

◆夢が丘小学校

『夢が丘の集合活動』

集会委員会の活動の、集会の内容や本番までの準備について、実際の集会を再現しながら発表しました。

◆滝合小学校

『滝合の町じまをしよう』

浅川での体験活動で分かったことや、地域の公園や遺跡について調べたことを発表しました。

◆豊田小学校

『ドリームプロジェクト』

「自分の夢を見つけよう〜」
将来の夢をテーマとして、地域の大人に「子供の頃の夢と現在の職業」をインタビューする中で、自分の考えが深まったり、変容したりしたことについて発表しました。

◆日野第四中学校

『職場体験で学んだこと』

オリンピックの職場体験を通して学んだことや、仕事をすることの大切だと感じたことをまとめ、発表しました。

◆日野第二中学校

『知る 見る 考える！私たちの食』

生活と密接に関わっている「食」について、身近なお店を調べる中で出てきた問いを起点に調べ学習を進め、わかったことを発表しました。

自分たちで地域の中で学ぶ中で感じた疑問や発見から考えを深めていった過程を、大きな舞台で大勢の人たちに向けて発表できたことで、子供たちは達成感を味わい、自信をつけたことと思います。

伝える力を高めることに加え、様々な発表から学び合う貴重な体験にもなりました。参加していただいた学校、保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

(学校課)

世界へ向けて大きく羽ばたく「ひのっ子」

中学生国内留学体験を終えて

12月26日〜28日までの3日間、東北新幹線とバスを乗り継ぎ、市内中学校の生徒20名が、福島県岩瀬郡天栄村にある「プリティッシュヒルズ」を訪れ、国内留学体験を行いました。



この国内留学体験は、東京日野ロータリークラブと日野市教育委員会との共催で実施している事業で、今年度で15回目を迎えました。日野市教育委員会の教育目標の一つ「ひらこ世界へ」には、私たちが暮らしている故郷日野を愛するとともに、視野を地球全体へと大きく広げ、世界に向けて羽ばたくことを目指しています。



語での入国審査を受けることから始まり、レッスンは、ゲーム形式、ロールプレイ形式等で展開され、外国人講師の皆さんの温かな励ましの中、生徒たちは間違いを恐れず英語で表現してみることが、英語を話すことに慣れていきました。

その後、『2020東京オリンピック・パラリンピック』をテーマとしたレッスンを日本の「おもてなしの心」を学んだり、英国の伝統的なスポーツやお菓子の調理を体験したりしました。全てのレッスンを通して、しっかりと聞くことと自分の意思を英語で伝えることを学びました。初めは緊張していた生徒も、自分の伝えたいことが外国人講師に伝わるのが実感できると、次第に自分から英語によるコミュニケーションを楽しむ姿が見られるようになりました。この3日間で生徒たちは、英語によるコミュニケーションの楽しさを知り、もっと英語で話せるようになりたい、外国の文化や習慣を実際に確かめたいという思いを強くしました。そして、一緒に参加した仲間や、「プリティッシュヒルズ」の人々との交流は、かけがえのない体験となったはず。この中学生国内留学体験の実施に向けて、ご尽力いただきました東京日野ロータリークラブ、日野市立中学校の先生方をはじめ、多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

(学校課)

ひのっ子 がんばってます

(学校課)

日野第一小学校

本校では子供が得意なことを見付け、伸ばす機会としてコンクールや競技会などの参加を促しています。夏休休業日の取組から、入選の知らせが届きましたので紹介します。

俳句大会で入選

俳人、小林一茶をたたえて催した「炎天寺一茶まつり全国小学生俳句大会」において、本校3年生の田島昂明君が出品した句が入選しました。えのぐんが、ゴトンゴトンと、なつやのみ

東京都小学生科学展で入選

本校5年生の吉田匠汰君が夏休休業日に研究した「液体のおおる速さ」が東京都教育委員会主催の東京都小学生科学展に日野市代表として出品され、入選しました。1月13日に日本科学未来館において口頭発表しました。

豊田小学校

11月5日「関東選抜空手道選手権大会」で2年連続優勝!



「関東選抜空手道選手権大会」に本校5年生の伊藤竜之介君が出場。昨年に引き続き、見事優勝しました。さらに、文武両道の選手に贈られる東京都知事賞も同時に授与されました。

1月からは、他流派の大会にも多数出場します。全国大会で優勝できるよう日々全力で頑張っています。

MOA美術館賞「東京都議会議長賞」W受賞



第24回「MOA美術館日野児童作品展」で、2年生の遠藤詩朋さんが、昨年に引き続き「MOA美術館賞」を受賞しました。さらに、「東京都議会議長賞」も同時に受賞しました。豊かな感性、そして自由に伸び伸びと描かれた作品は、見る人を笑顔にしてくれます。これからも自分らしい絵を描き続けていきます。

潤徳小学校

第13回「家やまの絵本」コンクール文部科学大臣賞受賞
2年生の横須賀悠人君が、第13回「家やまの絵本」コンクールで文部科学大臣賞を受賞しました。



文部科学大臣賞を受賞しました。

作品の題名は、『ぼくは天井』です。家の天井が主人公のオリジナルストーリーで、天井から見た独特の世界観を手作りの絵本で表現しています。授賞式は長崎県佐世保市で行われ、高円宮妃殿下もご参列なされました。ご家族の方からは、受賞作品集を寄付していただきましたので、本校の図書室に置かせていただきました。

平山小学校

地域での頑張り
平山ブルーサンダースが、日野市内の野球大会に優勝し、都大会に進出しました。10月の都大会では、2回戦で敗退

でしたが、精一杯力を出し切りました。
【5年】伊勢川稜大さん、城田浩輝さん、雪江美月さん、瀧瀬謙さん、岡村晴之介さん、山上倅弘さん、山口陽菜乃さん
【4年】川久保陽向さん、兵頭遼珂さん、高橋ひなたさん
【3年】赤木龍ノ介さん、上樂真輝さん、宮澤凌空さん、相田瞬さん、岡村花吉さん、山上惇史さん

日野第八小学校



大会授賞式で表彰台に乗って

フリスビー全国大会優勝!

4年生の吉田悠人さん。12月3日千葉国際総合水泳場で行われた第24回全日本スポーツダイビング室内選手権大会 50mフリッパージュニア男子の部で優勝しました。昨年・今年と、なんと全国大会2連覇です。小学校1年生の頃から選手コースで水泳をしている悠人さんは、昨年からフリッパー(ダイビングで使うフリスビー)を始めました。いつもやっている水泳とは違って、水中で足を動かすのがコツのこの競技は、ぐんぐん進むのでとても気持ちがいいそうです。「来年も優勝するぞ!」と意気込みを語ってくれた悠人さんです。

入選(6年)加藤晴香さん・長谷川智さん・内山翔太さん・福元来実さん・佐藤瑚春さん・清水咲希さん・酒井亜美さん
【ごみゼロ大作戦!!ごみ減量ポスター展】入選
【6年】藤田彩夢さん
【5年】加藤伶唯さん・遠坂旺士朗さん

滝合小ロポコン授業



全国ロボットコンテストに出場した国立高等専門学校の皆さんによる出前授業でロボット操作を学びました。手作りの4機のロボットで、「風船割レース」にトライしました。コントローラーの扱いも呑み込みの早い4年生。風船が割れるたびに体育館に大きな歓声が上がりました。

日野第四中学校

10月29日 おおぞら祭のステージで、合唱&ハンドベル部がステージ発表をしました。曲目: Little Glee Monster「好きだ」
12月9日に行われた旭が丘商工連合会主催「たきび祭」に吹奏楽部とボランティアとして26人の生徒が参加しました。

滝合小学校



校長室で校長先生に報告しました

◆第55回日野市民体育大会ソフトテニス・小学生の部
第3位【6年】松本裕香子さん
◆『緑と清流ポスター』
優秀賞【6年】北林嶺さん

卓球部(女子)
第7ブロック日南地区中学校新人大会団体戦3位
男子バスケットボール部
都大会新人大会ベスト8入り



都大会男子バスケットボール部の様子

生徒会の自治活動

本校では、毎月、月初めの1週間、生徒会が先頭に立って挨拶運動を繰り広げています。それに誘われて有志の生徒も加わってくれます。また、生徒会が各学期にドッジボール大会を企画し、学校生活の潤いと充実感を創造しています。このように本校では生徒の、生徒による、生徒のための活動が随所に見られます。



挨拶運動の様子



生徒会企画のドッジボール大会

チアダンス

全日本チアダンス選手権大会2017 優勝!
日野第六小学校をはじめ、多くの学校のひのっ子が参加して『SUNNY CLOVERS』。ALL JAPAN CHEERDANCE CHAMPIONSHIP 2017 CHEER DANCE部門 youth 編成において、見事に優勝することができました。昨年に続き、2年連続日本一です。



SUNNY CLOVERS

教育センター

平成29年度 日野市立教育センター 活動報告・調査研究事業の発表会を実施します。

教育センターでは、日野市の教育課題に対応する研究や研修、教員の指導力向上のための研修、若手教員の授業観察・指導・助言、適応指導教室等を行っております。

本年度は、理科教育や郷土教育の調査研究事業の発表、教員研修やわかば教室(適応指導教室)、登校支援状況等についての報告を実施いたします。教育関係者のみなさま、ぜひ、ご参加を

日時 平成30年2月19日(月)午後2時15分から午後4時45分まで
会場 教育センター講堂(3階)
活動報告・発表内容

- 平成29年度教員研修について(報告)
- 平成29年度わかば教室について(報告)
- 平成29年度適応指導状況について(報告)
- 平成29年度理科教育推進研究について(発表)
- 平成29年度郷土教育推進研究について(発表)

大学や企業と連携して最先端技術を活用した理数授業特別プログラムを実施しています。

子供たちの理科の学力向上には、まず科学的な事柄に興味関心を持ってもらうことが重要です。そこで、日野市では地元的首都大学東京や近隣の東京工業高等専門学校、企業と連携し、小中学生への「理数授業特別プログラム」を実施しています。今年度は、5種類の特別授業を

実施しています。その中から「日本電子株式会社」と連携した「電子顕微鏡による観察」の授業についてご紹介します。

電子顕微鏡による観察

9月19日(火) 日野第七小学校5年生 他



「電子顕微鏡ってすごく小さなものを拡大して見ることが出来る。」学校で使っている光学顕微鏡と比べながらの説明に、子供たちははびつくりです。例えようと、大人の人の身長を日本列島ぐらいに拡大できるということでした。

また、電子顕微鏡は光学顕微鏡と違って立体的に見ることが出来ます。そこで、電子顕微鏡で実際に見たいろいろな花粉、ラグビーボール型や野球ボール型など不思議な模様が見えない世界にあることを知りました。



授業を実施してくださった近藤先生の研究テーマである「動物の顔の発生過程」から、ねずみの顔の発生を撮影した写真は、とても興味深いものでした。その後、サンプルの中から子供が選んで電子顕微鏡写真を印刷しました。



印刷を待つ時間には別のグループは、こん虫を樹脂で固めた標本を好きな角度で観察しスケッチしたり、電子顕微鏡で撮影した写真を立体的に観望したりして立体視を体験したりしました。



子供たちからは、「初めて知ったことがたくさんあって、楽しかった」との感想が聞かれ、学校の勉強とはちよつと違って科学(理科)への新たな興味もわいたようでした。

5) 教育センター ☎ 592・050

算数大好きプロジェクト 帝京大学廣田敬一先生による「小学生土曜算数教室」

小学校6年生が論理的に考える力を高める算数の問題に挑戦しました。



市内小学校6年生を対象に帝京大学客員教授 廣田敬一先生を講師に土曜算数教室を開催しました。

土曜算数教室は、子供たちが算数の問題をじっくりと考えて解決する喜びを味わい、論理的に考える力を高めてほしいと願い、平成23年度から始まり、今年度で7年目を迎えました。今年度は、市内から抽選で選ばれた60名が、4月から12月までの10回にわたって、簡単には答えが導き出せない問題に挑戦しました。

試行錯誤しながらじっくりと考えたり、友達のを考えを聞いたりしながら解決方法を発見することで、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。12月16日(土)には、今年度の最後の算数教室と閉講式を行い、受講者を代表して3名が感想を発表しました。

以下に3名の発表した内容を掲載します。

ぼくは、土曜算数教室に参加して、学んだことが二つあります。一つ目は、難しい問題が出て分からない時は、簡単な問題に置き換えて考えてみることで、難しくして解けそうにないと思つたとしても、あきらめず、自分の解きやすい問題に置き換えることによって、性質などを発見し、難しい問題も解けるようになります。

二つ目は、問題を教え合つたり、問題を解いたときの喜びを

分かち合つたりすることの大切さです。僕は、この二つの学びを活かして、あと残りわずかな小学校生活を有意義に過ごしていけるように努力したいと思います。(豊田小 渥美 颯介さん)

最初は、算数の補習教室のようなものかと思つていただけに行つてみたらとても楽しく、算数の知識を使い、身近にあるものを問題とし、解いていくのはとても面白いと感じました。友達とも一緒に考えられたり、公式もあつたりして、行くのがとても楽しみでした。プリントに自分の思考なども書き込めるし、内容もたくさんあつて、とても分かりやすく、図形などもさわられて、目で見て考えることもできました。ぜひ今の5年生におすすみたいです。(平山小 向井 詩宇さん)

算数教室では、きまりの見つけ方や、見方を変えたり、工夫して問題を解くことを学習しました。

こんなやり方があるんだと、おどろきがたくさんありました。それを思いついた人や、解いた人はすごいなと思いました。

私は、算数が苦手です。「私にはできない」と思つてしまいましたが、教室に通い、学んだことで少し自信がもてました。私は先生方や友達に教えてもらい、けれど理解できないまま次へということがあります。もう一度聞いて、よく考えることで解けました。なので、相手と話し合う時間は大切だと思います。(日野第二小 高山 春香さん)



地域とともに創る 日野市の教育を目指して

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果より

小学校6年生並びに中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が行われ、その結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、義務教育の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。

日野市の結果は、小学校では、国語、算数とともに、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題において、平均正答率は全国を上回るものの、東京都を下回る結果になりました。中学校では、国語、数学とともに、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題において、全国や東京都に比べ、平均正答率は高い状況でした。今後も、「学びと育ちの日野ビジョン」(日野市総合教育大綱)並びに「新学習指導要領」に基づき、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と主体的な学びを融合する授業を創造していきます。また、小学校段階から個に応じた指導等の充実により基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、児童・生徒が主体的に学ぶ楽しさを実感できるように、各学校で授業改善を図つてまいりますので、保護者・地域の皆様方のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成29年度 全国学力・学習状況調査結果

	日野市	東京都	全国
小学校6年	国語A	75	74.8
	国語B	59	57.5
	算数A	80	78.6
	算数B	47	45.9
中学校3年	国語A	80	77.4
	国語B	75	72.2
	数学A	69	64.6
	数学B	52	48.1

※ Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

第9回 中学生「東京駅伝」代表選手決定

2月4日(日)第9回中学生「東京駅伝」大会が調布市にある味の素スタジアムにて開催されます。日野市の中学2年生の代表選手が、男子17区、女子16区を日野市の標に、仲間の思いを込めて走ります。

代表選手は、2月2日(土)に開催された日野市民ロードレース大会の記録を基に選考されました。男子21名、女子21名の総勢42名の選手団になります。

12月9日(土)に第1回合同練習会、12月16日(土)に、第2回合同練習会を日野市民陸上競技場で行いました。また、12月16日に日野第一中学校を会場に結団式を行い、チームとしての団結を深めました。

ひのっ子の代表としての誇りと自覚をもって一人一人が自分のもてる力を発揮して、力強く走ります。皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。



図書館
平成29年度日野市立図書館子ども読書活動推進事業
「見つけよう！新しい本の世界を」
はやみねかおるさん講演会を開催しました

各中学校の代表生徒22名が企画した講演会を11月5日(日)多摩平の森ふれあい館にて開催しました。約150名の方にご参加いただき、中学生による司会進行の下、あつという間の2時間でした。

中学生の「はやみねさんの本」が好き！

講演の前に、本の楽しさを参加者のみなさんに伝えるため、4人の中学生が自分の好きなはやみねさんの本を紹介し、読み方のポイントなどを語りました。はやみねさんからも「こんなふうに自分の本を読んでくれて嬉しい」とのお言葉をいただきました。

はやみねかおるさんの講演は、ミステリー作家として、作品の鍵を握る「謎」と「トリック」を創り上げる過程について、また、創作の裏話などお話をいただきました。



はやみねかおるさん講演

中学生の質問コーナー
中学生がはやみねさんにどうしても聞きたい15の質問をしました。はやみねさんの回答は丁寧かつプロとしての矜持を感じられるものでした。

中学生スタッフとの懇談会
講演会終了後に、中学生スタッフがはやみねさんと担当編集者を囲んで懇談会を行いました。作品や創作についての質問など



中央公民館
60周年記念イベントが
開催されました

今年もたくさんのお応募があり、書類審査で選ばれた6グループが11月19日(日)日野市立日野第一中学校を会場としたひのっ子シェフコンテストの本選に進みました。

審査員には鈴木審査委員長(服部栄養専門学校教授)、大坪市長、西田教育委員長、白尾実行委員長(実践女子大学教授)のほか惜しくも本選出場を逃した子どもたちの中から「子ども審査員」として3名参加していただきました。

<p>最優秀賞</p> <p>ひのっ子くるくるロールまき</p> <p>豊田小学校 5年生 上町 つくみさん 野尻 晶さん 馬場 菜緒さん</p>	<p>優秀賞</p> <p>ひのっ子バーガー</p> <p>日野第六小学校 6年生 田畑 杏梨さん 今井 優奈さん 三栗 桜空さん</p>	<p>敢闘賞及び栄養士と調理員が選んだ特別賞</p> <p>カレーなるカラフルあんかけチーズ春巻!</p> <p>南平小学校 6年生 青田 雛乃さん 小林 陽菜さん</p>
--	--	--

栄養士と給食調理員により選ばれた特別賞のメニューは、市内小中学校の学校給食として全校で提供される予定です。今後の学校給食が楽しみです。

新選組のふるさと歴史館
井上源三郎 没後150年

平成30年1月は、日野市出身の新選組隊士・井上源三郎の没後150年にあたります。井上源三郎は文政12年(1829)に現在の日野本町に生まれ、名主の佐藤彦五郎が開いた天然理心流の剣術道場で、近藤勇・沖田総司、土方歳三らと稽古に励みました。文久3年(1863)に浪士組の一員として近藤や土方と共に上洛した源三郎は、浪士組をもとに結成された新選組の隊士として京都の治安維持に活躍しました。しかし、大政奉還から間もない慶応4年(1868)1月の鳥羽・伏見の戦いで、戦死しました。



企画した中学生スタッフ22名とはやみねかおるさん

小・中学生集まれ！
囲碁・将棋サロン

中央公民館では11月から、子どもたちが自由に囲碁・将棋が体験できる場所として「囲碁・将棋サロン」を実施しています。公民館で活動している将棋サークルや囲碁サークル講師の下、子どもたちが真剣に囲碁や将棋を楽しんでいます。



開催日については、中央公民館までお問い合わせください。

井上源三郎 没後150年

また、新選組のふるさと歴史館では特別展「新選組・井上源三郎」を2月18日まで開催しています。没後150年のこの機会に、井上源三郎ゆかりの場所を訪ねてみてはいかがでしょうか。

▽井上源三郎資料館
源三郎の生家で、子孫が関連資料を展示しています。

▽八坂神社
源三郎が剣術の上達を願って奉納した額が残っています。

▽欣浄寺
源三郎の学問の師・日野義貴の記念碑があります。

▽日野宿本陣
かつて天然理心流の剣術道場があり、源三郎らが稽古に汗を流しました。

文化スポーツ課
笑顔をつくるクラシックコンサート
「スピッツ音楽会」
きがるに「ピアノ」開催!



日時 2月18日(日)
開場13時 開演13時30分
場所 七生公会堂
入場料 大人1,000円 子ども(4歳以上小学生以下)500円 ※全席自由席

チケット販売場所 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)、七生公会堂、e+(イープラス)

演奏予定曲目 アイネ・クライネ・3分クッキング、犬のおまわりさんの運命他

主催 日野市市民会館文化事業協会(産業スポーツ部文化スポーツ課内)

ゲートの詩「童は見たり 野なかの薔薇」で有名な歌曲「野ばら」の誕生秘話を、15曲の演奏と小演劇でお楽しみ下さい。

日時 3月17日(土)
開場18時30分 開演19時

場所 日野市民会館 大ホール
出演 村上敏明、土田悠平ほか

入場料 3,000円
※学割(大学生まで)2,000円
チケット販売場所 ひの煉瓦ホール
窓口、野ばらプロジェクトへ
問 野ばらプロジェクト(☎843・1795)
http://nobara-project.com/

郷土資料館
どんど焼きと
パネル展「富士山と日野」

郷土資料館では、「お正月飾りづくり」や「どんど焼き」といった伝統を体験できる行事や、展示を通して、ふるさ日日野を皆様に伝えています。

郷土資料館は、毎年小正月に「どんど焼き」を行っています。どんど焼きは、日野市では「サノカミ」と呼ばれてきました。カヤで作った小屋に、お正月のしめ飾りなどをつけて燃やして災いを払い、健康を願います。今年は1月13日に実施し、その他市内14か所で行われています。



パネル展「富士山と日野」
市内の11の小中学校の校歌にも登場するほど日野の各所で富士山が見られます。富士山の見える日野の風景を写真パネルで紹介いたします。

期間 1月19日(金)〜2月13日(火)
会場 京王高幡SC 高幡不動駅改札階南北通路
問 郷土資料館(☎592・0981)

みんなで泊まろう
ハヶ岳高原大成荘
強く冷え込んだ日の朝は、キラキラ輝くダイヤモンドダストが見られるかも...

ご予約・お問合せは ハヶ岳高原大成荘 検索
フリーダイヤル 0120-489-571(大成荘直通)



家庭教育通信 25
子供の起床・就寝時間に注意する。
子供たちの寝る時間が遅くなり、睡眠時間も短くなっていきます。深夜テレビや24時間営業の店などが世の中にあふれる中、家庭においても、大人の夜型の生活に子供を巻き込んでいないではないでしょうか。
早寝早起きの習慣をつけて、十分な睡眠をとることは、子供の健やかな成長と生活リズムを確立するために大切です。家庭で早寝早起きのルールをつくり、習慣をつけるようにしましょう。
出典 文部科学省発行「家庭教育手帳」(生涯学習課)